

2022年度 学部・大学院 科目等履修生・聴講生に出願される方へ

2022年度 授業の取り扱いについては、感染拡大予防策を講じたうえで、原則、対面授業とします。ただし、履修者の多い大規模科目は、オンデマンド配信授業とします。

なお、感染状況によっては、学期の途中でであっても、オンデマンド配信授業の対象科目の変更や授業の実施形態が変更される場合がありますので、出願される方は、下記の点を確認のうえご出願ください。

今後、授業の実施方法等について変更が生じた場合は、関西大学ホームページ (URL : www.kansai-u.ac.jp/index.html) でお知らせいたします。

記

- (1) 今後の新型コロナウイルス感染症の拡大状況等により、各学期開始前や学期途中で授業実施形態やそれに伴う授業内容を変更する場合がありますので、授業形態が変更となった場合に対応できるかどうかご判断のうえ、ご出願ください。

【ご参考】遠隔授業の受講形式例

① オンデマンド配信授業

関大LMSを活用し、各回の講義動画やナレーション付き講義資料を視聴することで学び、小テストや課題提出による理解度確認や質疑応答、学生同士の意見交換等を行う授業です。

② 教材提示による授業

関大LMSを活用し、提示された各回のスライド資料等教材として学び、小テストや課題提出による理解度確認や質疑応答、学生同士の意見交換等を行う授業です。インフォメーションシステムの「講義連絡」等で、担任者から自習や演習の指示を受け、メールや掲示板等で質疑応答を行う授業もあります。

③リアルタイム遠隔授業

Web会議システム (Zoom等) を活用し、リアルタイムで配信される講義や双方向での議論をとおして学び、小テストや課題提出による理解度確認や質疑応答、学生同士の意見交換等を行う授業です。
※受講する科目の曜日・時限 (時間割どおり) に授業が行われます。

- (2) 遠隔授業を受講するための環境整備や通信等にかかる費用は、受講生自身の負担となります。

【ご参考】オンデマンド配信授業を受講するための準備

① 機器

PCやタブレット、スマートフォンなどインターネットが使用できる端末を準備してください。課題としてプレゼンテーションを収録することや、リアルタイムで受講することがありますので、カメラ、マイク、スピーカー (ヘッドフォンなど) が必要となる場合があります。

② インターネット環境

自宅でPCやタブレット、スマートフォンなどでインターネットに接続できる環境を準備してください。通信容量は受講形式により異なりますので、光回線などの常時接続ができる定額制課金のインターネット環境を確保することを推奨します。

- (3) 対面授業の受講にあたっては、「対面授業における感染拡大予防マニュアル (学生用)」 (URL : www.kansai-u.ac.jp/mt/archives/pdf/manualstu.pdf) を必ず確認してください。

- (4) 授業形態・内容が変更になった場合や、自己都合、インターネット環境の不備等を理由とした履修科目の変更、辞退及び一旦納入された諸費 (選考料、登録料、科目等履修料、聴講料) の返金には応じられません。